

# 第2回 教育課題検討委員会

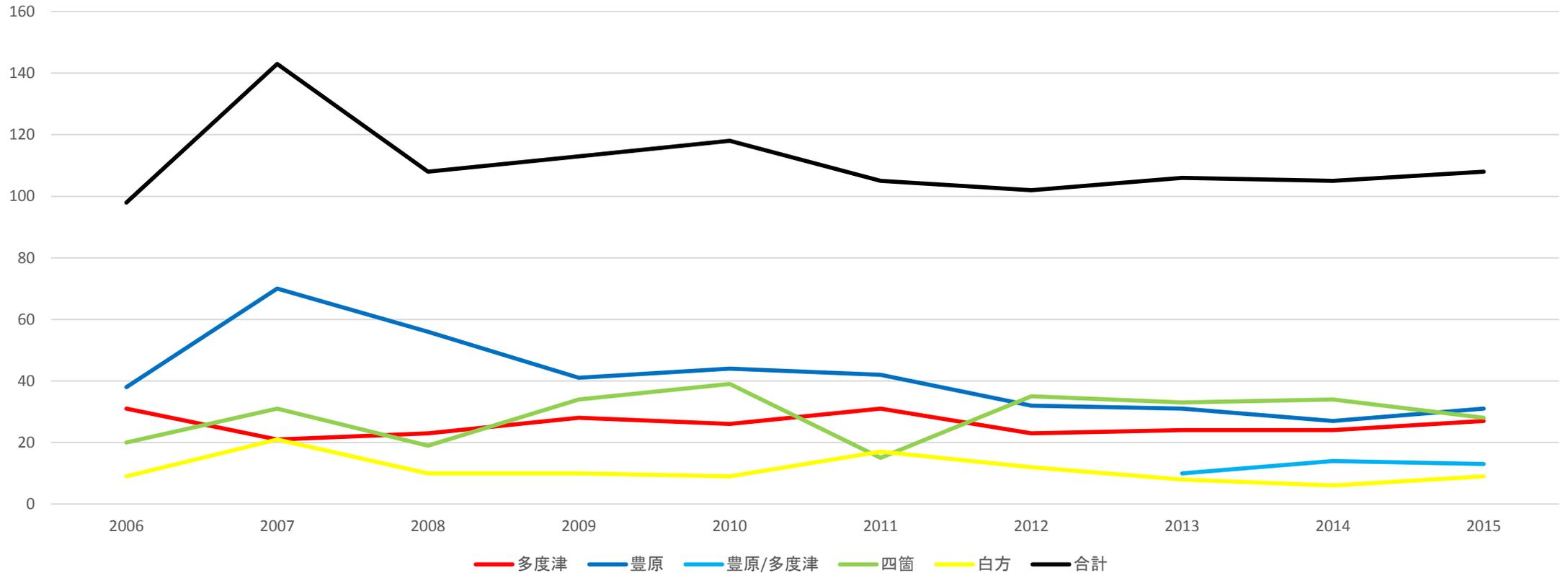
平成28年10月31日(月) 19:00～  
多度津町総合福祉センター3F講習室

# 目次

1. 人口の流出入状況
2. 【幼稚園】幼児の減少による今後の学級編成
3. 【小学校】児童の減少による今後の学級編成
4. 【幼稚園】在園児の居住分布
5. 【小学校】在校児の居住分布
- ~~6. 香川県内の幼稚園・小学校の再編等状況~~
7. 【幼稚園/小学校】適正規模配置についての考察

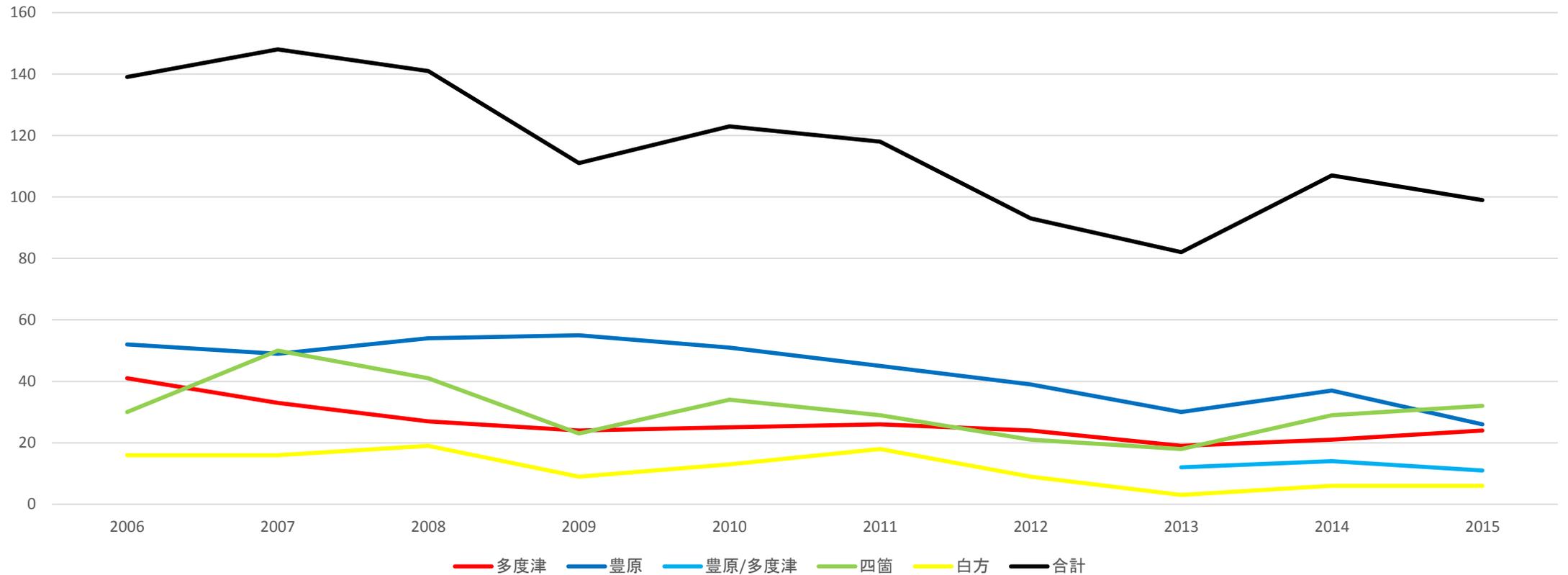
# 1. 人口の流出入状況①(転出の状況)

多度津町から転出する子どもの推移



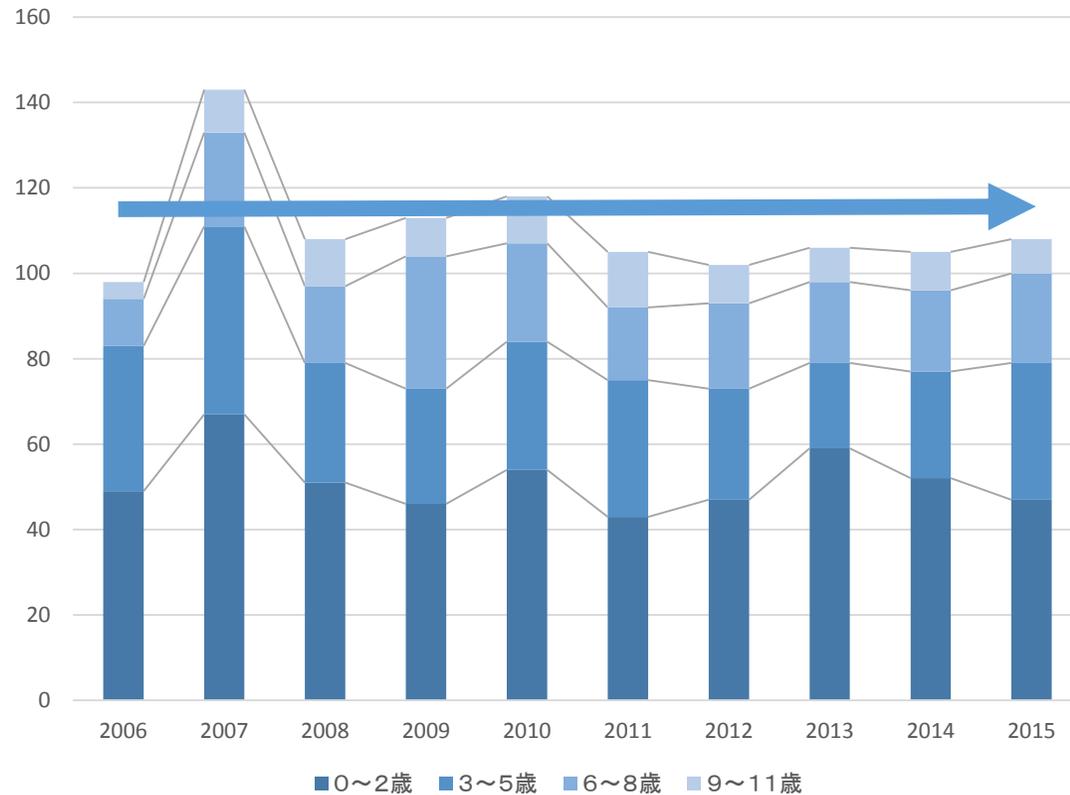
# 1. 人口の流出入状況②(転入の状況)

多度津町への転入する子どもの推移

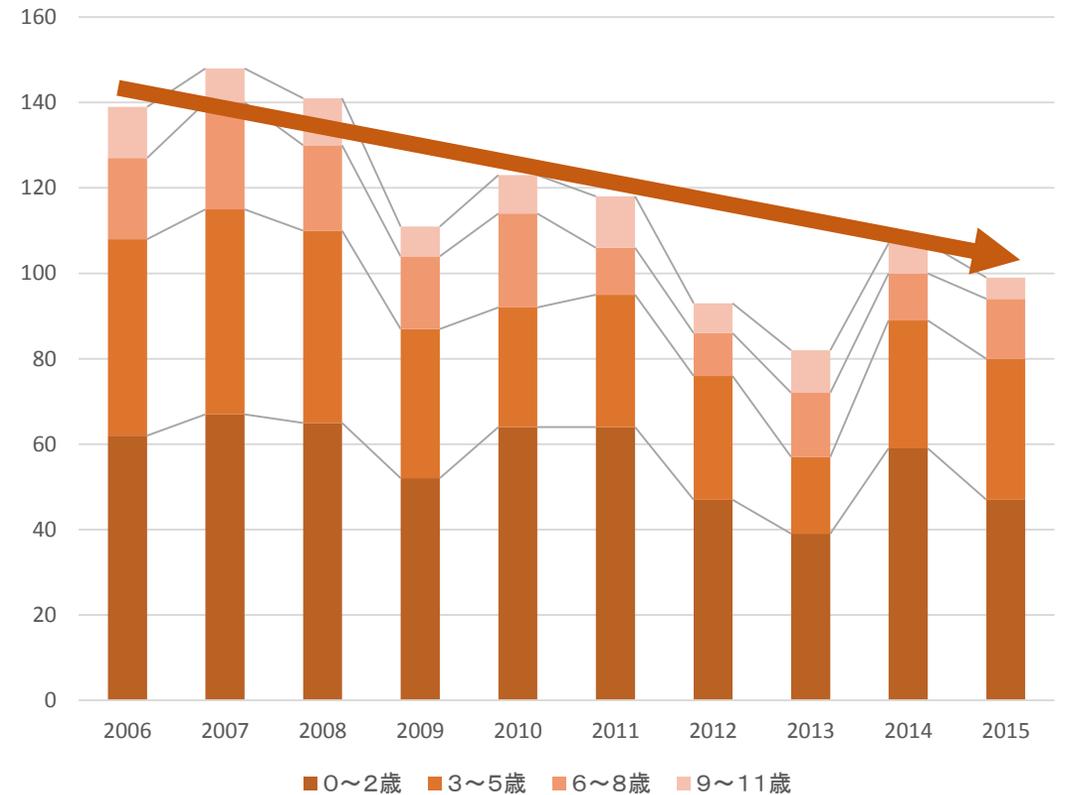


# 転入・転出の分析（傾向、異動時の年齢）

転出者の年齢別推移

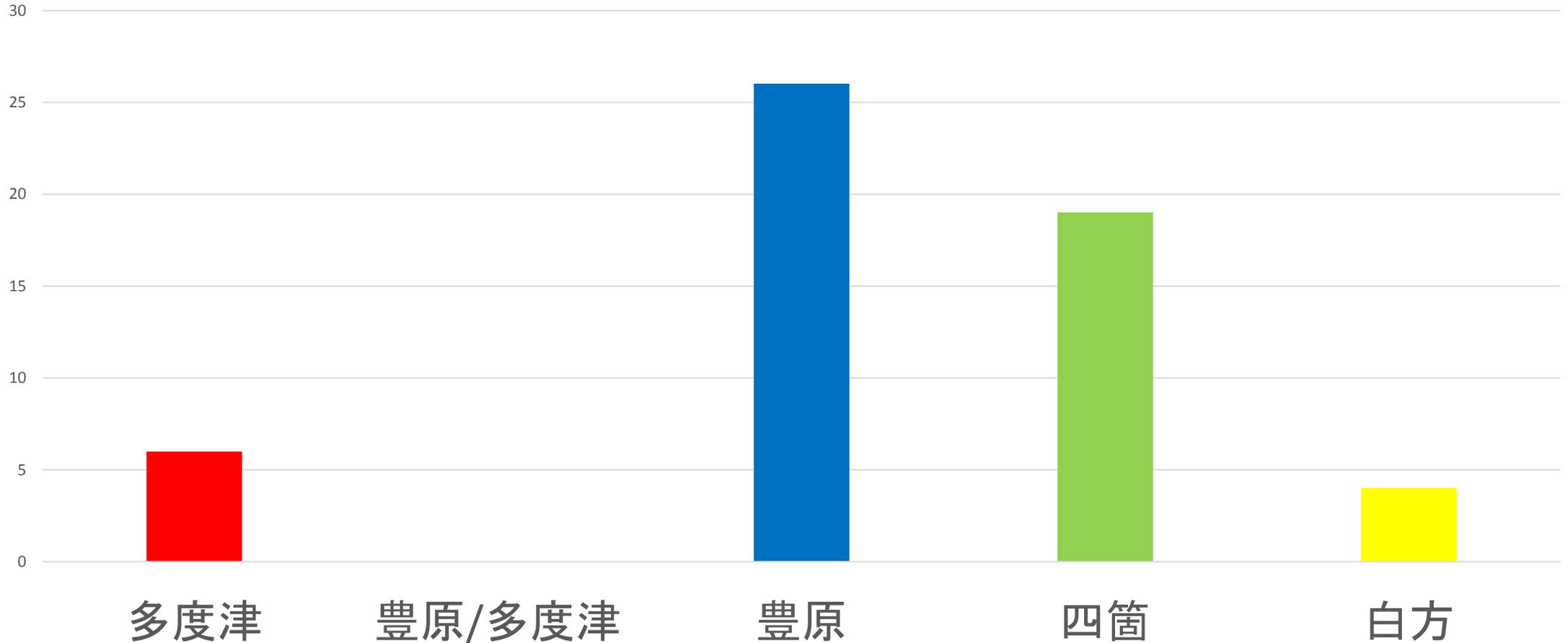


転入者の年齢別の推移



# どの地区に多く人口が流れているのか？

人口の流出入(±)過去10年間



## 2. 【幼稚園】幼児の減少による今後の 多度津町の学級編成状況

## 2. 町立幼稚園の学級編成

現状 平成28年度

	年少(3歳)	年中(4歳)	年長(5歳)	合計
多度津	14	15	13	42
豊原	20	31 2クラス	30	81
四箇	17	26	22	65
白方	2	3	8	13
	過少のため複式学級			

推計 平成31年度

	年少(3歳)	年中(4歳)	年長(5歳)	合計
多度津	11	12	18	41
豊原	19	22	25	66
四箇	18	21	19	58
白方	2~13	1~6	2	5~21
	過少のため複式学級編成？			

### 3. 【小学校】児童の減少による今後の 多度津町の学級編成状況

## 3-2. 人数の適正基準について

- 学校教育法施行令第41条

「小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、**地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。**」

- 文科省「公立小中学校適正規模適正配置等に関する手引き」にも、法令に沿って、「**少なくとも複式学級を解消させることは必要**」であり、「**1学年複数学級が望ましい**」ということが言及される。

Next→多度津町の現状と推計可能な将来の学年別人数を確認

# 3-3. 小学校の学級編成数/クラス人数

現状 平成28年度

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
多度津	49(2) 24.5人/クラス	47(2) 23.5人/クラス	55(2) 27.5人/クラス	43(2) 21.5人/クラス	51(2) 25.5人/クラス	60(2) 30人/クラス	305(12)
豊原	66(2) 33人/クラス	87(3) 29人/クラス	86(3) 28.6人/クラス	83(3) 27.6人/クラス	86(3) 28.6人/クラス	75(3) 25人/クラス	483(16)
四箇	56(2) 28人/クラス	48(2) 24人/クラス	60(2) 30人/クラス	62(2) 31人/クラス	42(2) 21人/クラス	54(2) 27人/クラス	322(12)
白方	13(1) 13人/クラス	19(1) 19人/クラス	21(1) 21人/クラス	17(1) 17人/クラス	27(1) 27人/クラス	11(1) 11人/クラス	108(6)

推計 平成34年度

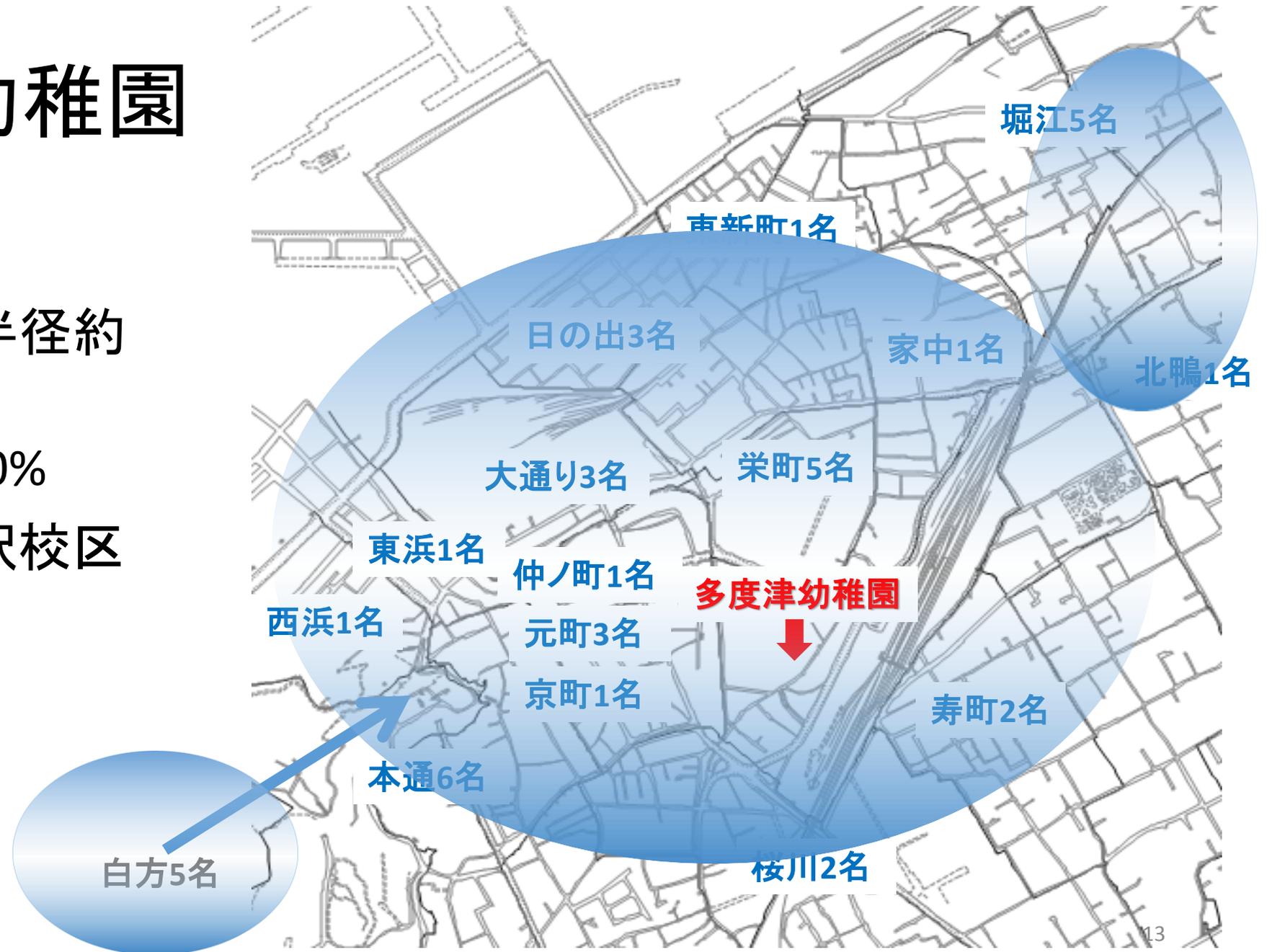
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
多度津	27(1) 27人/クラス	29(1) 29人/クラス	36(1) 36人/クラス	29(1) 29人/クラス	39(1) 39人/クラス	35(1) 35人/クラス	195(6)
豊原	68(2) 34人/クラス	80(3) 40人/クラス	76(2) 38人/クラス	69(2) 34.5人/クラス	54(2) 27人/クラス	71(2) 35.5人/クラス	418(13)
四箇	54(2) 27人/クラス	61(2) 30.5人/クラス	50(2) 25人/クラス	48(2) 24人/クラス	66(2) 33人/クラス	54(2) 24.5人/クラス	333(12)
白方	18(1) 18人/クラス	13(1) 13人/クラス	8(1) 8人/クラス	14(1) 14人/クラス	17(1) 17人/クラス	15(1) 15人/クラス	85(6)

## 4. 【幼稚園】在園児の居住分布

- H28年5月1日現在の在園生(4園計201名)の居住地区を大字ごとに洗い出し

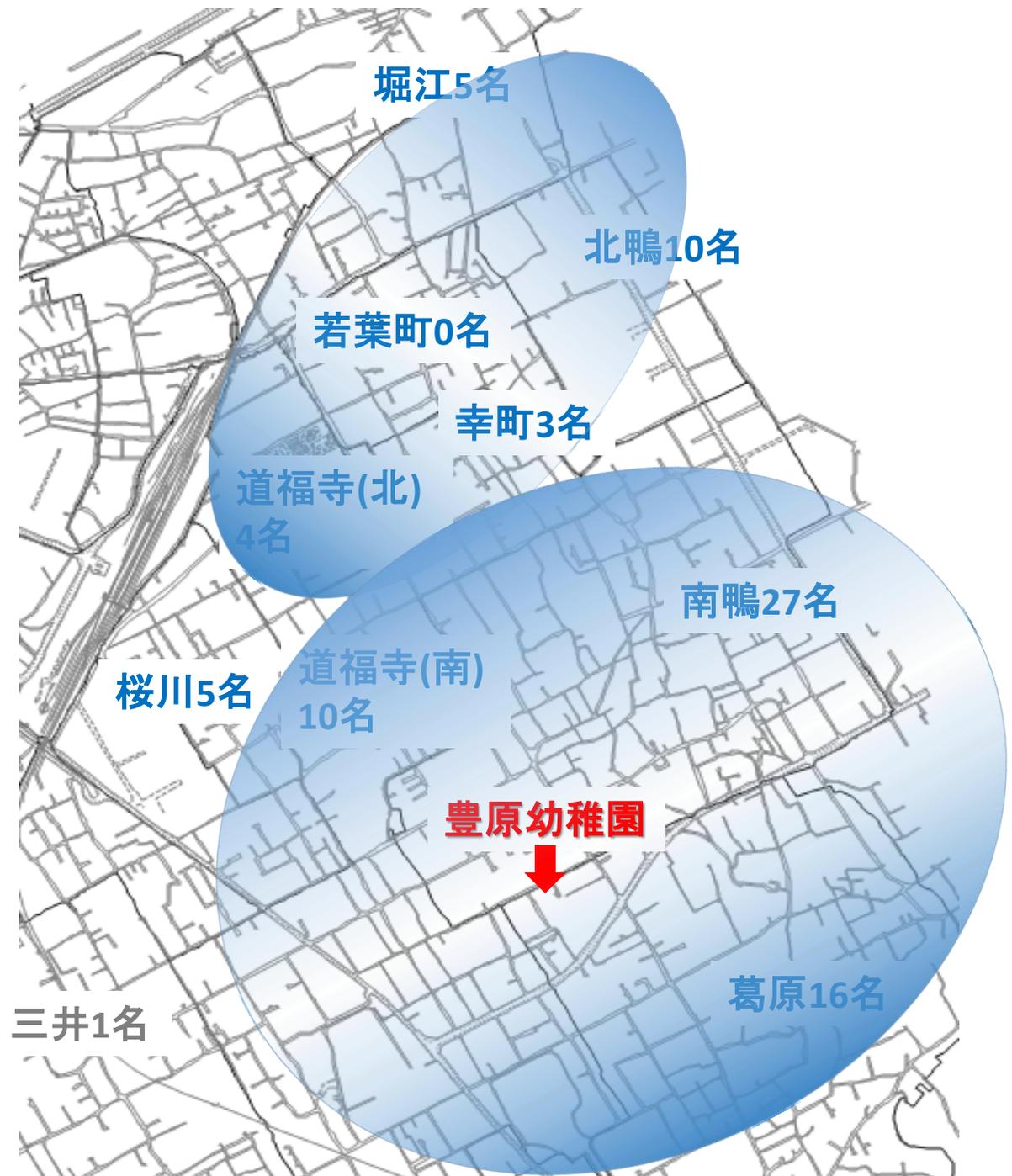
# □多度津幼稚園

- 計41名
- 全体の80%が半径約1km圏内に
- 白方方面から10%
- 多度津豊原選択校区から10%



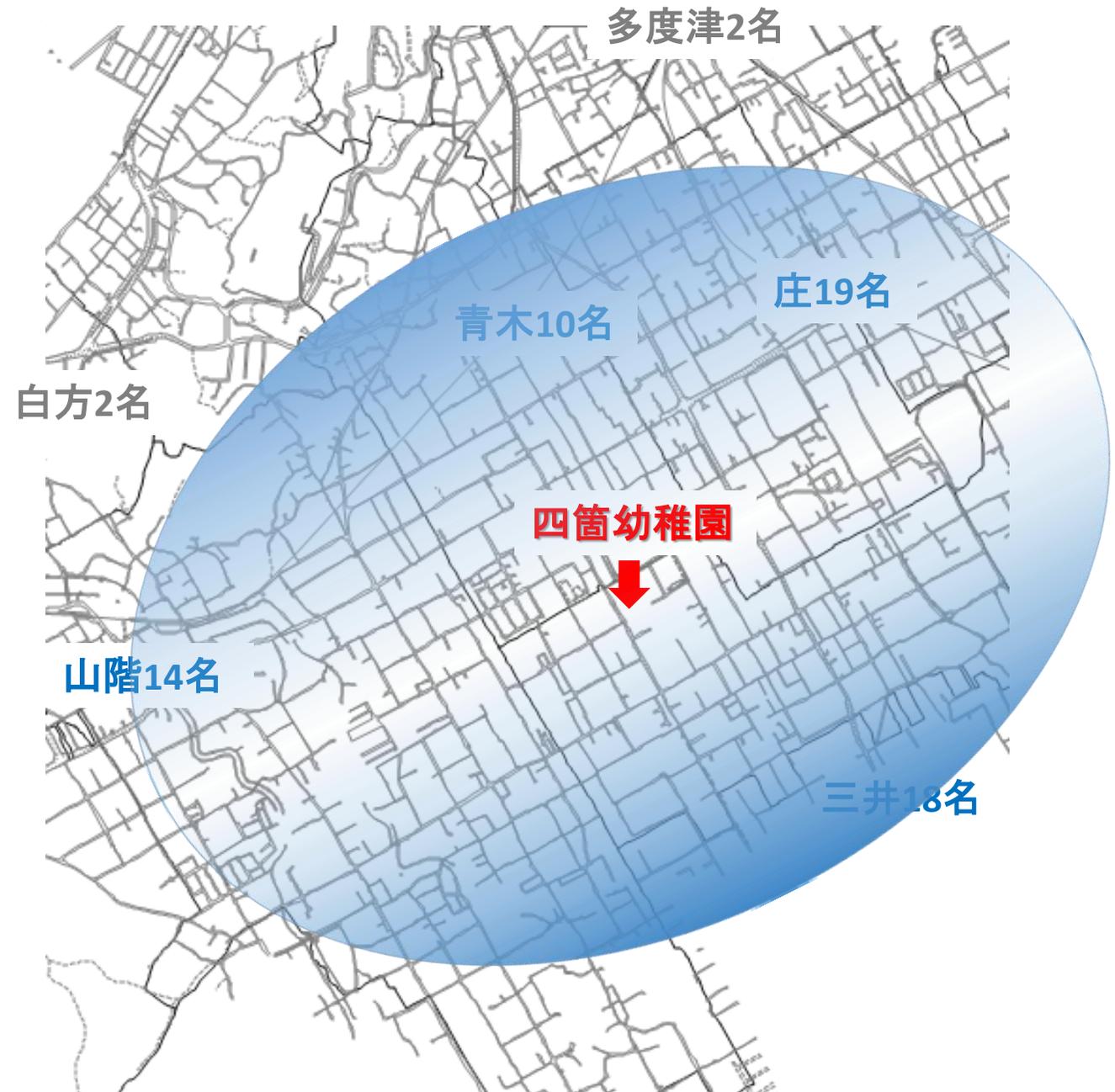
# □豊原幼稚園

- 計81名
- 南部の豊原のみのエリアからおよそ70%弱
- 北部の多度津豊原選択校区からおよそ30%



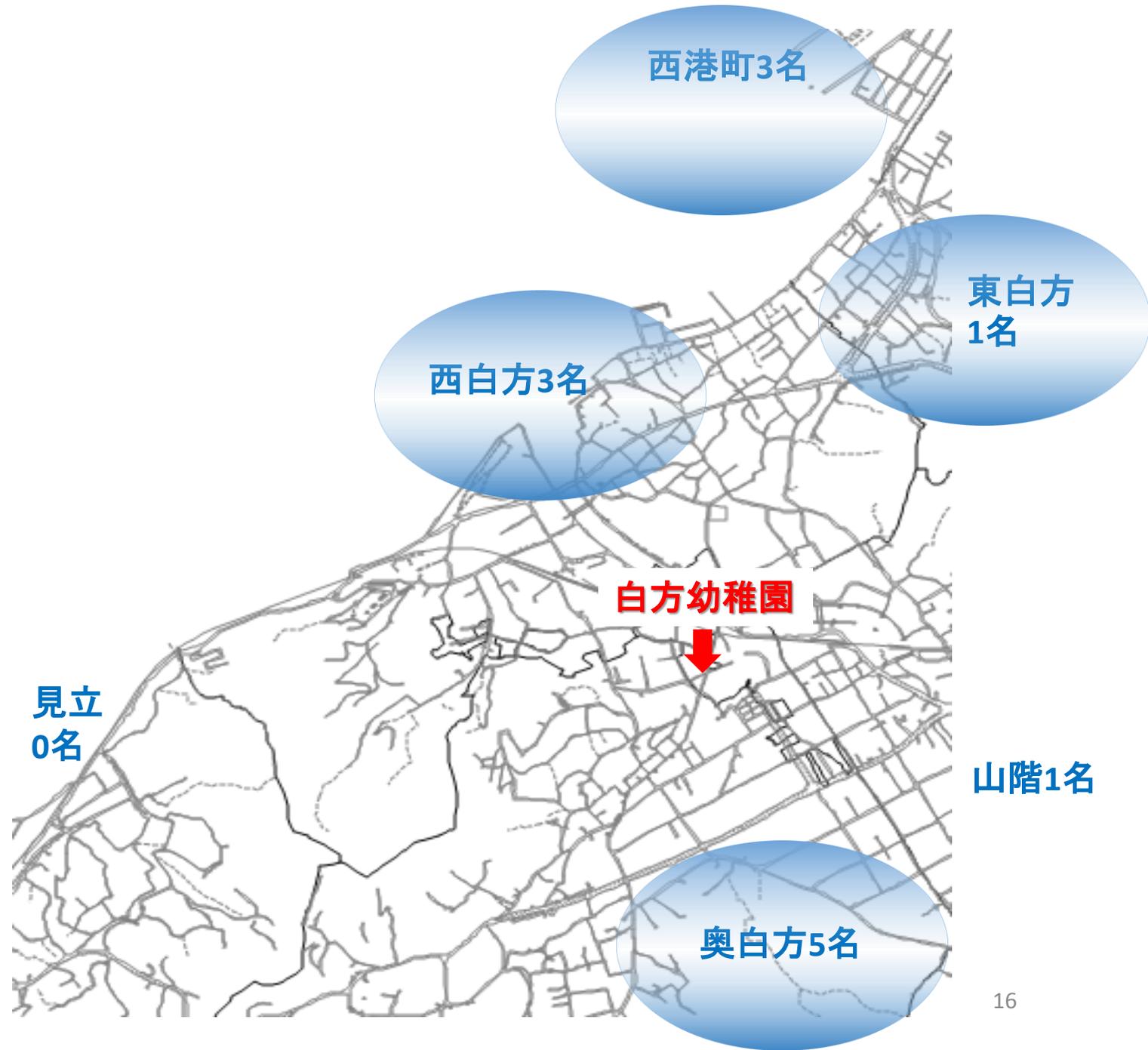
# □四箇幼稚園

- 計65名
- 全体の95%が四箇校区から
- 他地区から5%



# □白方幼稚園

- 計13名
- 校区内で園児の居住  
が点在している



## 5. 【小学校】在校生の居住分布

- H28年5月1日現在の在校生(4校計1,218名)の居住地区を大字ごとに洗い出し

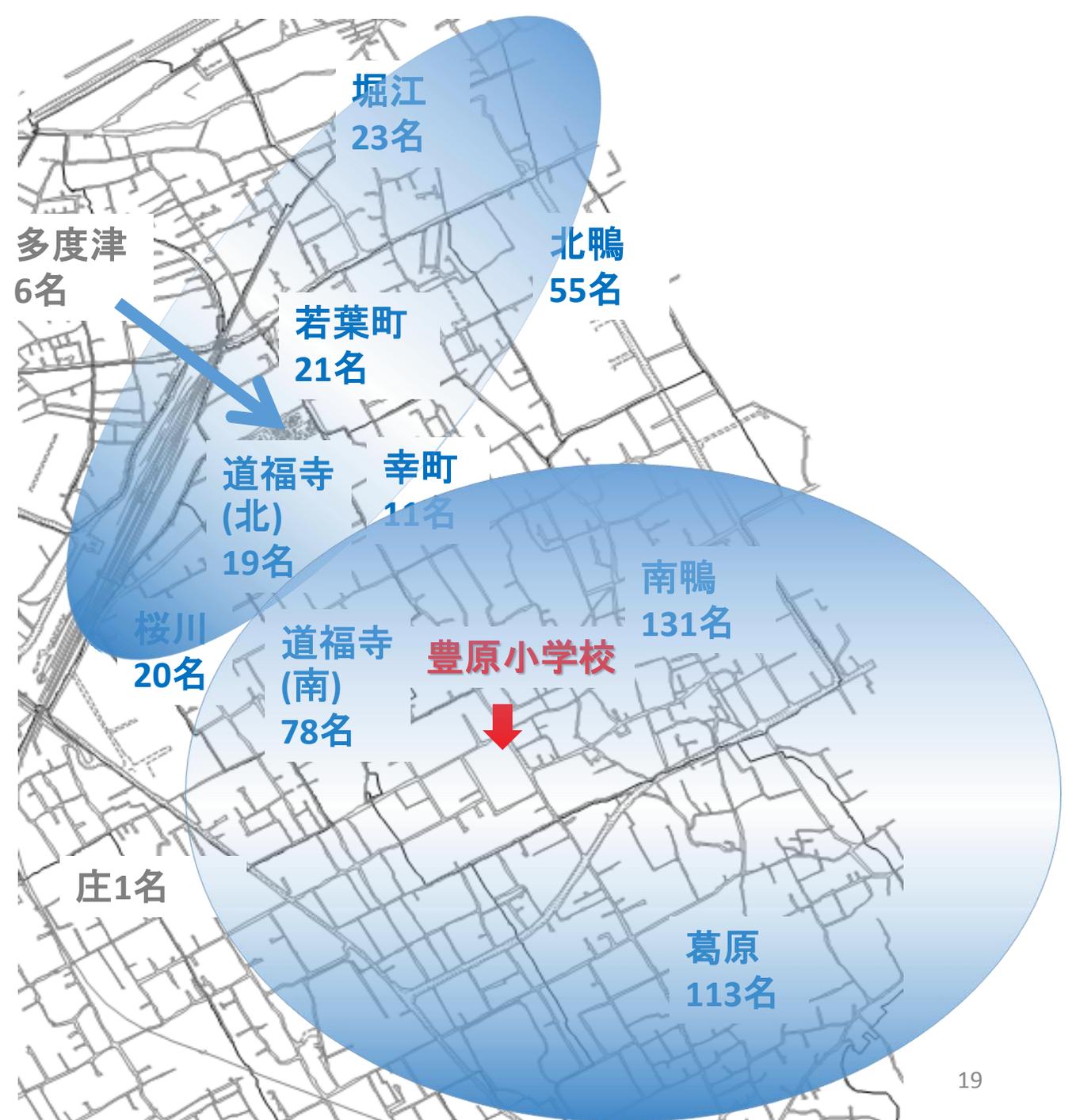
# □多度津小学校

- 計305名
- 全体の80%が半径約1km圏内に
- 多度津豊原選択校区から15%
- 白方方面から4%
- 四箇方面から2%



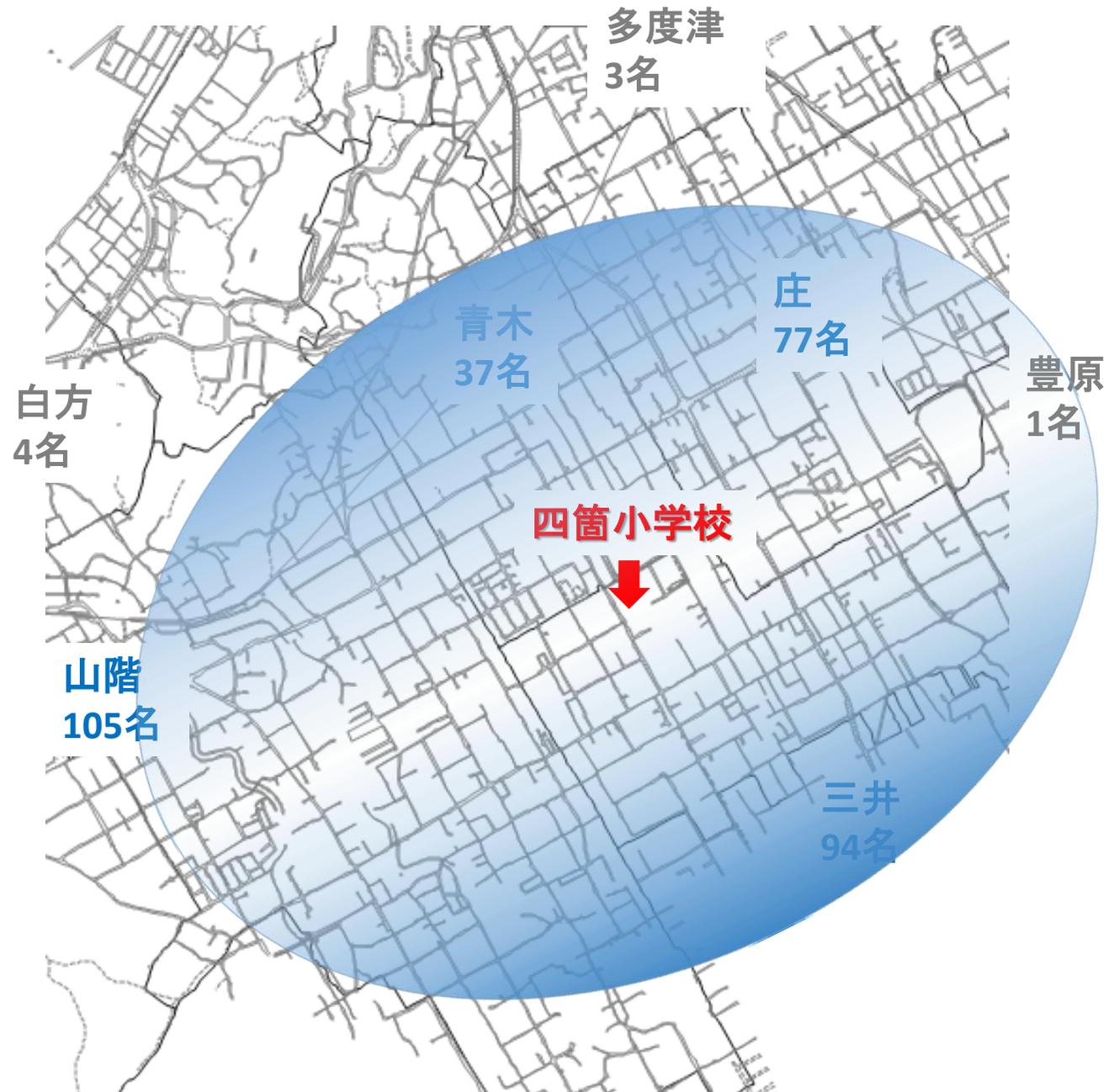
# 豊原小学校

- 計483名
- 南部の豊原のみのエリアから70%弱
- 北部の多度津豊原選択校区から30%
- 他地区から1~2%



# □四箇小学校

- 計322名
- 全体の95%が四箇校区から
- 他地区から5%



# □白方小学校

- 計108名
- 西端の見立、北端の東白方の一部や西港町など2kmを越える地域も校区に含まれている
- 校区内で園児の居住が点在していると言える



## 7. 【幼稚園/小学校】適正規模と配置について～香川県内の比較から～

# 幼稚園/小学校の数は・・・？

- 子どもの数、町の面積の比率が主な決定要因



- (これらがすべてでなく、町や地域の特性・意向なども、当然要因に)
- 香川県内の市町のデータと、人口密度ならぬ【幼児密度・児童密度】で比較 ↓Next

# 類似団体と多度津町の学校数の数値比較

## 多度津町

- 幼児密度 8.375人/km<sup>2</sup>  
幼稚園数 6km<sup>2</sup>/園
- 児童密度 50.750人/km<sup>2</sup>  
小学校数 6km<sup>2</sup>/校

## 類似市町

- 幼児密度 7.455人/km<sup>2</sup>  
幼稚園数 10.88km<sup>2</sup>/園
- 児童密度 44.108人/km<sup>2</sup>  
小学校数 6.694km<sup>2</sup>/校

# 類似団体が検討委員会で定めた学校数

## 類似市町

- 幼稚園数を19.139km<sup>2</sup>/園に再編していく
- 小学校数を13.351km<sup>2</sup>/校に再編していく

# 比較からの分析

多度津町



多度津町(将来構想)



類似市町



類似市町(将来構想)

